

武庫川女子大学 音楽学部演奏会
「甲子園会館の音楽會」第45回

武庫川アンサンブル
～教員による演奏会～

2024年3月3日(日) 14:00開演(13:30開場)
武庫川女子大学 上甲子園キャンパス 甲子園会館西ホール

プログラム

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第5番「春」 / L.v.ベートーヴェン

奥野敬子 (ヴァイオリン)
奈良田朋子 (ピアノ)

美しく青きドナウ(ツェグレディ=ヴィルバック編) / J.シュトラウス2世
モルダウ(スメタナ自身による編曲) / F.スメタナ

多田秀子 (第1ピアノ)
宮下朋樹 (第2ピアノ)

～休憩 (15分)～

オペラ「電話」 / G.C.メノッティ

ルーシー：坂口裕子 (ソプラノ)
ベン：藤村匡人 (バリトン)
今岡淑子 (ピアノ)

～プロフィール～

◆奥野敬子◆

東京藝術大学附属音楽学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。同大学大学院修了。これまでに、東京芸大新人演奏会、関西フィルとのコンチェルト協演等、ソロ、室内楽、室内合奏、オーケストラ各分野で数多くの演奏活動を行う。2017年3月まで20年間神戸市室内合奏団（現神戸市室内管弦楽団）ヴァイオリン奏者として活躍。後進の指導にも力を注ぎ、大阪教育大学非常勤講師を経て、1984年より武庫川女子大学非常勤講師、音楽学部の定期演奏会では毎年オーケストラのコンサートミストレスを務めている。神戸フィルハーモニックコーチ、姫路市ジュニアオーケストラ指導講師、岡山フィルハーモニー名誉団員。岩崎吉三、阿部靖、ロラン・フェニヴェッシュの各氏に師事。

◆奈良田朋子◆

京都市立芸術大学音楽学部を首席卒業後、フランスに約7年留学。パリ国立高等音楽院第3課程高等研究科、パリ・スコラカントルム、マルセイユ音楽院各マスタークラス修了。マリア・カナルス国際コンクールにてメダル、ラフマニノフ国際ピアノコンクールにて第2位及びラフマニノフ特別賞、マヴィ・マルコツ国際ピアノコンクールにて最高位、リスト国際ピアノコンクールにて第3位受賞。フランス、イタリア、オランダ各地での演奏会の他、97年日本デビューリサイタルを皮切りに、ラヴェルのピアノ曲全曲演奏会を含めたソロ活動や、室内楽、また協奏曲のソリストとして大フィル、京響、関フィル、日本センチュリー、大響などと共演多数。平成9年度滋賀県文化奨励賞、2003年平和堂財団芸術奨励賞受賞。

◆多田秀子◆

武庫川女子大学 音楽学部 器楽学科 ピアノ専攻卒業。同大学 専攻生課程修了。読売・関西 各新人演奏会に出演。大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団等と共演。二期会歌曲研究会にて歌曲伴奏の研鑽を積み、オペラのピアニストとしても活躍。現在、主に声楽・合唱の共演者、合唱指揮者としてさまざまなコンサート等に出演。阪神・淡路、熊本の復興支援コンサートに出演し音楽による支援や浜甲子園団地における地域連携活動にも力を注ぐ。西宮音楽協会、神戸音楽家協会、日本ピアノ教育連盟各会員。

◆宮下朋樹◆

桐朋学園大学卒業、同学研究科修了。ドイツ国立ハノーヴァー音楽大学、オーストリア国立ザルツブルグモーツァルテウム音楽大学で学び、修士課程修了。オスログリーグ国際ピアノコンクールにて特別賞、ABC 新人オーディション入選、宝塚ベガコンクール第2位。ソリストとして1998年に東京、宝塚、ザルツブルグにて、ベートーヴェンの後期ソナタ（作品109,110,111）を演奏してデビュー。以後、幅広いレパートリーで数多くのソロリサイタル、室内楽演奏会に出演し、特にベートーヴェンの作品ではピアノソナタ・ヴァイオリンソナタ・チェロソナタの全曲演奏会を開催し、2024年にはピアノ三重奏曲の連続演奏会を開始する予定である。ピアノ連弾、2台ピアノでの出演も多く、2023年には兵庫県立芸術文化センター管弦楽団のメンバーとバルトークの2台のピアノと打楽器のためのソナタを共演した。（公財）日本ピアノ教育連盟関西支部幹事、日本ショパン協会正会員、日本演奏連盟会員。

◆坂口裕子◆

愛知県立芸術大学卒業・桑原賞受賞。京都市立芸術大学大学院修了・大学院賞受賞。平成20年度文化庁新進芸術家海外留学制度在外研修員として渡伊、ミラノ G.ヴェルディ国立音楽院を称賛付きでディプロマ取得。「ランメルモールのルチア」ルチア役をはじめ、国内外でオペラの主要な役を演じる。NHK-FM リサイタル・ノヴァ、NHK ナゴヤニューイヤーコンサートや宗教曲のソリスト、リサイタルに出演。平成26年度坂井時忠音楽賞、平成30年度兵庫県芸術奨励賞受賞。大阪音楽大学非常勤講師。関西歌曲研究会理事。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。

◆藤村匡人◆

兵庫県立加古川東高等学校卒業。大阪音楽大学大学院音楽研究科修士課程オペラ研究室修了。平成元年度文化庁国内芸術家研修員。平成5年度兵庫県新進芸術家海外研修員」として渡欧し、オーストリア国立ウィーン音楽大学大学院およびオーストリア国立モーツァルテウム音楽院大学院の在籍を経てドイツ国立カールスルーエ音楽大学大学院リート科を修了。帰国後の現在もピアニスト長谷智子との関西で唯一のリートデュオとして定期的に歌曲リサイタルを開催。また、オペラの分野でも関西二期会をはじめ各プロダクションの公演に数多く参加。大阪フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団をはじめ各地のオーケストラとの共演により宗教曲等のソリストを務める。第26回なにわ芸術祭新人賞、第6回摂津音楽祭コンクール銀賞、第10回飯塚新人音楽コンクール第3位、第3回J.S.G.国際歌曲コンクール第3位、第63回日本音楽コンクール声楽部門入選、平成15年度坂井時忠音楽賞、平成19年兵庫県芸術奨励賞などを受賞。日本シューベルト協会副理事長、日本演奏連盟、関西二期会、加古川音楽家協会各会員。加古川シティオペラ・メンバー。

◆今岡淑子◆

相愛大学音楽学部卒業、同大学ピアノ研究生修了。ザルツブルグ、シオン（スイス）各地でH.ライグラフ、F.W.シュヌア各氏のマスタークラス受講。ソリストとして各地でリサイタル、NHK-FM「名曲リサイタル」などに出演。大学在学中に相愛オーケストラと、また大阪フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団などのオーケストラと共演。伴奏者、室内楽奏者として内外の演奏家と多数の演奏会、NHK-FM などに出演するほかCD、テレビコマーシャル録音に参加。そのほかストラヴィンスキー作曲「ペトルーシュカ」に代表されるオーケストラ中鍵盤客演奏者として大阪フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団などで度々演奏している。1997年にはピアニスト館野泉氏の推薦でフィンランドを代表する作曲家シベリウスの交響曲第2番をピアノ2台でヨーロッパ初演し好評を得る。「音楽現代新人賞」受賞。宝塚ベガ音楽コンクールピアノ部門第3位入賞。京都芸術祭優秀伴奏者賞受賞。また指導者としてピティナ「特別指導者賞」、日本クラシック音楽コンクール「優秀指導者賞」など度々受賞。

武庫川女子大学 音楽学部 演奏会

—第46回甲子園会館の音楽會—

2024年6月16日（日）13時30分開場／14時開演

—第57回定期演奏会—

2024年12月14日（土）14時30分開場／15時開演

※予告なく変更することがあります。
音楽学部ホームページで最新の情報をご確認ください。